



KN-930 振動覚検査用音叉

Semiquantitative Tuning fork

医療機器製造販売業許可番号：13B3X00413

デロン先生 (A.Lee Dellon,MD) へ推薦 音叉

- 振動の知覚“振動覚”は、感覚の種類で、静的触覚と動的触覚に分類され、この動的触覚の検査用具としての音叉 (tuning fork) が用いられます。
- この音叉は糖尿病性末梢神経障害、神経損傷後の知覚の回復追跡調査、知覚再教育に適した時期と程度の決定、末梢の知覚の調査研究等に用いられます。

なお、本製品は、振動が長時間持続しますので、検査に最適です。

KN-930-32



32 Hz
玉付、特殊炭素鋼製
(全長 約 29 cm)

KN-930-64



64・128 Hz (プラスチック座付)
玉付/目盛付、特殊炭素鋼製
(全長 約 23 cm)

KN-930-128-X



128 Hz (台座無し)
特殊炭素鋼製
(全長 約 17 cm)

KN-930-128



128 Hz (プラスチック座付)
玉付、特殊炭素鋼製
(全長 約 18 cm)

KN-930-256



256 Hz
玉付、特殊炭素鋼製
(全長 約 13 cm)

【検査方法】

- (1) 振動を加える部位が動かないように固定する。
- (2) 音叉の二股に分かれた先を各検査部位に一回当てる。
- (3) 検査部位はいつも反対側の同部位と比較し、また同側の障害されていない領域とも比較する。